

アイ・CRR・EED「泣き」ました…

歯科・松島町 西村 真



防備でした。最後

に、娘から「今ま

きて、久しぶりに、泣け

で育ててくれてあ

りました。自分の育て方は、

りがとう！」と言

間違っていなかつたど、

われた瞬間。込み

上げた瞬間でした。歯科

医院を経営していると、

上げてくる内から

の感情が、涙にな

スタッフの問題、患者さ

り、目から溢れて

いました。今まで

会？との関係など、い

ろいろな場面で、感情が

不感症気味になってきた

と感じていた時でしたの

生まれ、また、これが「可愛い」：今度は「じじバカ」です。この前、こんなことがありました。久しぶりに孫の実家に訪れた時です。1歳過ぎたばかりの孫が、私たち「ジジ・ババ」に自分のおもちゃは見せるわ、いろいろな覚えたての芸は見せるわで、いつもより動きが活発なのです。明らかに私の家に来た時より、活発に動き回るのです。これには驚きました。1歳の子どもなりに、一所懸命、我々に自分の家に来たので「おもてなし」をしています。これは、感じるのです。これには、感動しました。日頃スタッフに、最高の「おもてなし」をしなさいと指導し

ている私ですが、1歳時の気持ちがあれば、それ取り出す孫の写真は、カの子どもに教えられた瞬間は「伝わる」と思えた瞬間でした。細かいことは間でした。最近、こんな言葉を見つけた。「財布からまだまだ、「ジジバカ」が続きそうです。」

泣くまい思っていました。自分を肯定されたような…感情だったのでしょ

先日、娘の結婚式がありました。他のスタッフ、は、仕事に忘却され、借入金？に追われ、家内に任せきりの気持ちがあり、多少、不安がありました。感動はしていましたが、自分の場合は、完全に無嬉しかったですね。これ

そして、今では、孫が